

<現在の本校における諸状況>

- ・創立100周年という節目を迎え、常磐松小学校の歴史や地域をより深く知る絶好の機会。
- ・渋谷区教育目標の重点にもある「一人ひとりのちがいが活きる新たな学び・探究の推進」及び情緒固定特別支援学級「コスモ学級」の開級に伴う理解教育のさらなる推進を図る必要性。
- ・探究「シブヤ未来科」における様々な外部機関との連携と、子供たちが個性を伸ばし先進的で柔軟な考えを育む指導の継続及び学習内容の発信。
- ・6年生の宿泊は日光、5年生の宿泊は長野県飯山市で実施を継続。4年生の宿泊地を移動時間の関係により令和7年度から那須甲子から御殿場に変更。

国：日本国憲法や教育基本法等の教育関連法
学習指導要領など

都：教育施策大綱、東京都教育ビジョン第5次

学校教育目標

挑戦する子 つながる子 働く子

【令和7年度重点目標】

挑戦する子：自ら学び、考え、挑戦する力をもって行動する児童

渋谷区教育委員会

教育目標「つくろう。ちがいを活かし合える、未来の学校。」 重点的な取り組み
探究「シブヤ未来科」

<めざす学校像>

児童が自ら学ぶ楽しさと成長を実感できる学校

<めざす教師像>

授業力を高めようと自己研鑽に努め、子供の意見や考えを大切にする

<めざす職員像>

自らの役割と責任を果たし、子供たちの安全・安心な教育活動を支える

3つの柱 —知・徳・体のバランスのとれた育成—

【知】

自ら学び、「できた」「わかった」「やってみたい」を実感できる学校

- 授業の中で子供たちの対話を重視し、自ら学びをつくり出す場面を意図的に設定する。
- ・個別最適な学びと協働的な学び、探究的な学びを通した考える子の育成。
- ・デジタルを活用し基礎・基本の定着と個別の学びを充実。
- ・よき伝統を継承し、時代に合わせてアップデートする。地域や保護者の思いや願いを実感できる場面の設定。

【徳】

自分も大事、みんなも大事、互いを尊重し合える学校

- 信頼関係を基盤とした学校風土・学級風土を構築する。
- ・「あいさつ・返事・言葉遣い」の徹底。
- ・人権に関わる行動や言動は見逃さない。いじめ未然防止の授業を実施。
- ・たてわり班活動の実施。
- ・ユニバーサルデザインの考えを取り入れ、相手の立場になって共感できる学習の実施。
[コスモ学級・ゆずりは教室との連携]

【体】

明るく楽しく、健康・安全に過ごせる学校

- じょうぶな体とたくましい心を育む環境をつくる。体育集会等で意図的に体を動かす場を設定。施設安全点検の確実な実施。
- ・健康教育の推進（薬物乱用防止教室等）、食育の推進（ランチルームの活用）。
- ・「自分の身は自分で守る」意識の向上。日常の安全指導やセーフティ教室の充実。
- ・様々なことに挑戦する気持ちを応援するとともに振り返りの場を確保。

【保護者・地域との協力体制】 創立100周年記念行事の計画・実施。地域を愛し、地域に愛される学校をめざし、地域・保護者と双方向の連携を図る。

【安全・安心な生活】 子供たちの安心・安全を保障できる学校をめざし、危機管理意識を高くもち、様々な視点から安心・安全を守る。

【特色ある教育活動】 デジタル社会を生き抜く力の育成をめざし、プログラミング教育の推進とデジタル・シティズンシップ教育の推進を図る。

【教職員の働き方改革】 ホーム&スクールの積極的な活用とペーパーレス化の推奨、教員の勤務時間（8時05分～16時35分）の周知および共通理解を図る。